



西口一志さん
太海堂漢方の薬剤師。
免疫、慢性病、婦人科などが専門。

漢方薬の処方について

病状の根本原因にふり返り、自分自身の自然治癒力を高めていくことで、病気の改善を目指すのが東洋医学の基本的な考え方です。同じ症状でも、一人ひとりの体質の違いによって処方する漢方薬の内容は異なるので、カウンセリングが何よりも重要です。



約15分で薬が完成。処方箋は2週間分を基本に、服用日数の相談にも応じてくれる。



10~20種類を組み合わせた漢方薬を調合。薬のタイプは、飲み薬or煎じ薬を選べる。

太海堂漢方



さまざまな身体の悩み相談に対応し、漢方薬・養生法をアドバイスしてくれる相談薬局。店内には、200種類以上の生薬・漢方エキスを常備している。

秋田市広面字谷地田51-3
☎018-836-4970
営業10:00~19:00
休月曜 第1・第3日曜
3台
http://www.taikaidou.com



【冷えのタイプは4種類あり】

- 身体に熱を作れない冷え
《陽虚(ようきょ)》
- 血液を押し流す力や血流量不足による冷え
《気虚(ききょ)・血虚(けつきょ)》
- 全身を巡る血液の停滞による冷え
《瘀血(おけつ)》
- 気の上昇による冷え
《気滞(きだいたい)》



冷えに悩む編集Aは、血や水はきれいだが、それを巡らす『気』が弱い(気虚タイプ)という診断に。



弁証で導き出された自分の体質を分かりやすく説明してくれる。これにより、体質を改善する処方薬が決定する。

北風が身体にこたえる12月、「冷え」に悩む女性にとってはつらい季節がやってきましたね。身体が冷えると、基礎体力や免疫力の低下、ホルモン乱れなど、身体にさまざまな負担がかかります。特に女性は、ホルモン分泌が乱れると、老化の原因にもつながるので、敏感に対応していきたいところ。そこで冷え対策はいろいろありますが、今回は、体質から見直す「漢方」をピックアップ。長年、漢方・養生専門で臨床経験を積んだ太海堂漢方の薬剤師・西口さんに、漢方薬の処方の流れを聞きました。今年の冬は、漢方で体質改善を目指してみよう。

漢方処方の流れを体験



【弁証論治】

初回は30分~1時間、じっくりと時間をかけて症状の根本原因を探る「弁証」と呼ばれる問診を行う。その際、舌の状態、体格、顔色、目つき、声のトーン、肌の色ツヤなど、身体の状態もチェック。自己判断では分からない、専門知識が必要な最も重要な工程。